



巻頭言 リウマチ・膠原病内科

とくなが
徳永

たかひろ
剛広

私たちリウマチ・膠原病内科は、平成26年3月24日の開院とともに新設された診療科になります。私自身は開院時の1年間と、平成30年4月1日より再度在籍しております。内科系診療センターの中では若輩者になりますが、諸先輩方に助けられながら日々の診療をさせていただいております。また、診療科の特性として他科と共同で診療する機会が多いのですが、当院は診療科の垣根が低く医師同士が顔を突き合わせてカンファレンスができております。コメディカルに対しても同様であり、いつも助けられながらチーム医療が実践しやすい病院であると実感しております。



さて、江東区という地域についてですが、特に豊洲地域はタワーマンションの建設が進んでいることもあり、毎年5000人程の人口増の地域となっております。リウマチ・膠原病内科にのみ関して言うと、城東地区に関しても常勤医の所属がある基幹病院が少ないため、当院の果たす役割は非常に重要であり、責任を感じるとともにやり甲斐を感じております。幸い医師会の医療連携も非常に活発な地域であり、大先輩にあたる笠間毅病院長が開院時から医療連携の発展にもご尽力され、クリニックの先生方とも協力し合いながら診療させていただいております。さらには令和元年10月より社会福祉法人あそか会あそか病院で猪狩雄蔵先生が外来担当をさせていただいており、ますますの発展を期待しているところです。

膠原病疾患に関しては厚生労働省の定める指定難病にあたる疾患が多く、患者さんからの誤解を生みやすいと感じており、正しく理解していただくことが最善の治療につながると信じております。全年齢に罹患する可能性のある膠原病疾患であり、膠原病合併妊娠に関しては一つの大きなテーマであります。現状は専門外来の設立に至っておりませんが、女性と子どもにやさしい診療を目指す当院の治療指針に沿えるよう今後の目標の一つと考えております。城東地区の膠原病患者にとって住みやすい地域であると思ってもらえるよう微力ながら今後も精進して参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



昭和大学江東豊洲病院

第68号のトピックス

- 巻頭言（リウマチ・膠原病内科）
- 臨床工学室紹介
- 世界糖尿病デーイベント開催報告
- 公開講座開催報告
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

臨床工学室には 16 名の臨床工学技士と 1 名の技術補助員が在籍し、病院内で使用される医療機器の中央管理を行っています。

医療機器は、人工呼吸器や補助循環装置などの生命維持装置や、薬剤投与に使用される輸液ポンプやシリンジポンプのような日常的に使用される機器まで数多く存在します。生命維持装置はおもに集中治療室などで運用される装置のため、異常や故障はあってはならない機器になります。また、輸液ポンプやシリンジポンプも同様で、日常的に使用される機器であっても重要な薬剤が正確に投与されないと患者さんに大きな影響を与えてしまいます。これら医療機器を安全に使用できることが臨床工学室の役割でもあります。



臨床工学技士の業務として医療機器の中央管理は基本であり、多くはチーム医療の一員としての臨床業務です。血液浄化室、手術室、集中治療室、血管造影室が主なメインフィールドであり、血液浄化室では入院中の維持透析患者さんの血液透析をはじめ、自己免疫吸着や血漿交換など多様な血液浄化治療が行われています。

手術室では心臓外科手術時の人工心肺装置の操作や管理が行われ、常に 3 名の臨床工学技士が、最良の手術ができるようハートチームの一員として関与しています。

集中治療室では術後管理として多くの医療機器が一人の患者さんに装着されます。当院での高度な心臓外科手術が行われた患者さんは、生命維持装置である人工呼吸器や補助循環装置または持続的血液浄化療法が装着されるような場合であっても術後管理に関わり、重度な心臓疾患手術からの早期回復に関与しています。また、集中治療が必要な患者さんには多くの医療機器が装着されています。臨床工学技士は医療機器が安全運用に適切に運用されているかを確認し、医師や看護師だけではなく、多くの医療従事者とのチームで集中治療を実践します。

血管造影室では虚血性心疾患や不整脈治療の心臓血管カテーテル治療やアブレーション治療が行われ、放射線領域での診療放射線技師を含めた検査・治療が行われています。急性心筋梗塞の患者さんには発症から 90 分以内の治療が必要とされていることから、24 時間緊急対応できる体制をとり、検査・治療における専用装置の操作や病変の評価を行い、適切で迅速な治療ができるよう従事しています。アブレーション治療では、不整脈解析をはじめ高周波焼灼装置などの操作を行い、不整脈複伝導路への適切なピンポイント焼灼が可能となるようサポートしています。

我々、臨床工学技士はそれぞれの専門性の高い領域でチーム医療の一員としての役割を果たし、多くの専門分野での対応が可能な臨床工学技士の育成が進められています。臨床における医療機器の専門家として最善最良の医療を行なっていきますので、宜しくお願いいたします。



世界糖尿病デーイベント開催報告

11月14日（木）、世界糖尿病デーイベントを開催しました。

当日は、無料の血糖値・HbA1c測定、健康相談、糖尿病に関する展示を行い、糖尿病を身近に感じていただきました。

多くの方にご来場いただき、糖尿病に対する関心の高さが伺えました。



公開講開催報告

11月16日（土）に、第11回昭和大学江東豊洲病院公開講座を開催しました。



眼科・岩渕 成祐



整形外科・古屋 貴之

第1部では、「加齢と目の病気」という演題で、眼科・岩渕 成祐 教授が白内障、緑内障、加齢黄斑変性症の原因・治療法について講演を行いました。

第2部では、「膝の痛みの原因と治療 変形性膝関節症を中心に」というテーマで、整形外科・古屋 貴之 講師が変形性膝関節症の予防法・治療法について講演を行いました。

当日は、160名の方が参加してくださり、アンケートを実施した結果、「有意義だった」、「次回も参加したい」、「とても参考になった」等、ご好評をいただきました。

今後も地域医療の拠点としてこのような機会を提供していきますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

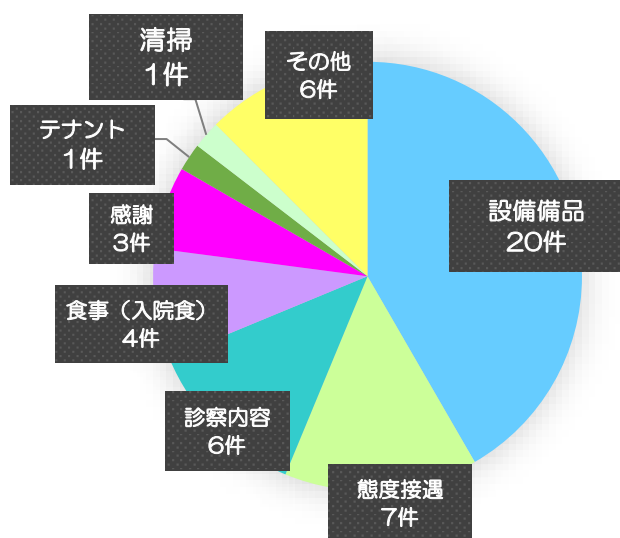


当日の会場の様子

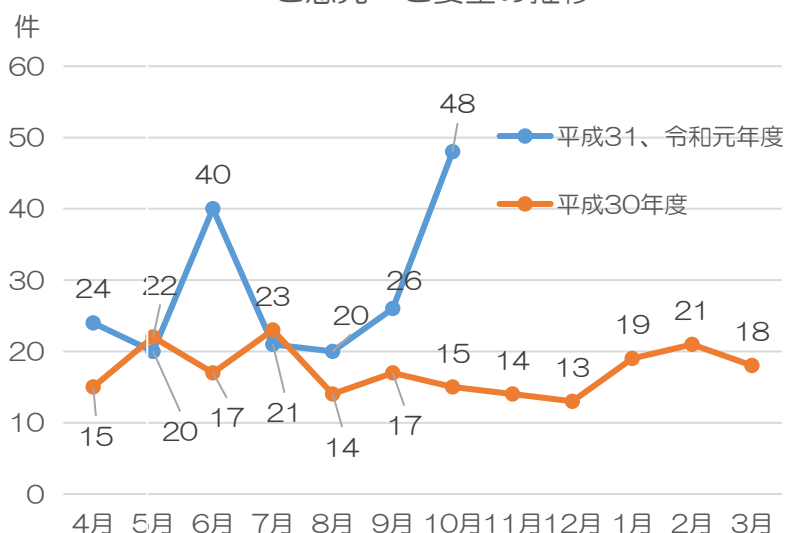
「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>看護師さんは、みなさん丁寧に対応してくださり、ストレスが少ない入院生活を送れました。ただ1点、同じことを2、3度言わなければならないなど、情報共有が足りていないと感じることがあったので、改善されたら、患者さんはさらに快適に過ごせると思いました。短い間でしたが、お世話になりました。</p>	<p>ストレスの少ない入院生活を送れたとのこと、スタッフ一同嬉しく思います。反面、情報共有の不足により何度も同じことを伺うなどの不快な思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。今後は、医療チームでの情報共有、伝達を速やかに行い、快適な入院生活を送れるよう努力してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。 回答部署：看護部</p>
ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>食事の味が濃いと感るので、薄くしてもらえると嬉しいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。当院では、ニュークックチルシステムという調理法を採用しており、この特性として調味料が食材に染み込みやすいという点があり、味が濃く感じられることもございます。全ての患者さんの嗜好に合わせることは難しいですが、献立内容などを見直し、調理業務を行ってまいります。 回答部署：栄養科</p>

令和元年10月分
ご意見・要望の内訳
総件数48件



ご意見・ご要望の推移



編集後記 リハビリテーション室 あおき けいいちろう 青木 啓一郎

年の瀬も押し迫ってまいりました。あっという間に1年が過ぎようとしています。皆さんは年頭に考えていた目標などはありますか？ 12月はこの1年の目標を達成できたかを確認できる月でもあります。そして、この1年を振り返るのもいいかと思われまます。12月は公私ともに慌ただしいと思われまますが、くれぐれもお体にお気をつけください。来年も広報委員会をよろしくお願い申し上げます。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
TEL03-6204-6000(代表)
発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

